

# 神奈川県新産のウスゲミヤマシケシダ（イワデンダ科）

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/00050278">http://hdl.handle.net/2297/00050278</a>

## 田村 淳：神奈川県新産のウスゲミヤマシケシダ（イワデンダ科）

Atsushi Tamura : A new record of *Deparia mucilagina* (Woodsiaceae) from Kanagawa Prefecture, Japan

神奈川県丹沢山地で本県新産となるウスゲミヤマシケシダ *Deparia mucilagina* (M.Kato) Nakaike を発見したので報告する。

ウスゲミヤマシケシダは北海道と本州に生育する日本固有種である (Kato 1984 ; 中池 1992) . 神奈川県では長野県の亜高山帯 (大塚 1997) と、埼玉県の3地点 (秩父市内2地点, 秩父郡小鹿野町内1地点; 安田 1998) で分布が報告されている。

ウスゲミヤマシケシダはミヤマシケシダ, ハクモウイノデとともに, かつてはミヤマシケシダ (異名がハクモウイノデ) 1種とされていた (中池 1982) . その後, Kato (1984) はミヤマシケシダを3変種に分け, 中池 (1992) はこれら3変種をそれぞれ独立種とした。他県の過去の植物誌ではミヤマシケシダにまとめられているため, 詳細な地理分布は不明である。神奈川県内ではハクモウイノデ1種のみが生育するとされたが, ウスゲミヤマシケシダやミヤマシケシダが丹沢山地や小仏山地の高標高地において見つかる可能性が示唆されていた (田村 2001) .

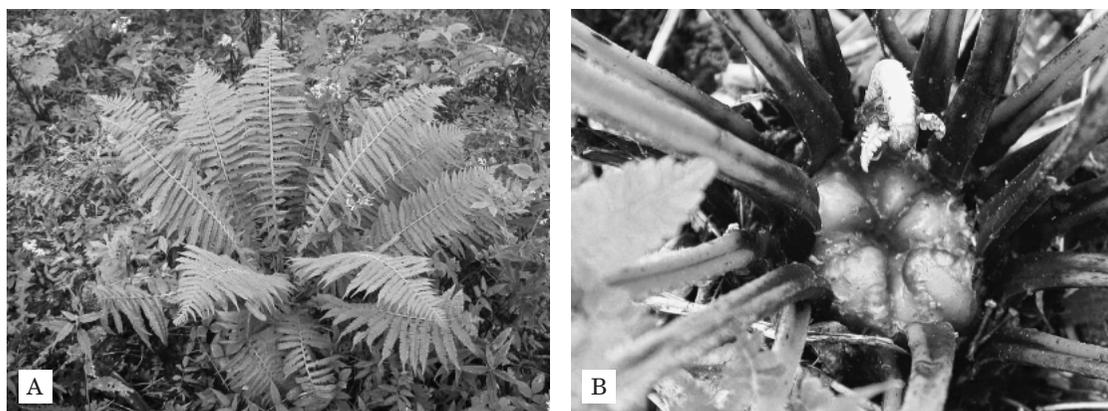


Fig.1. *Deparia mucilagina* (M.Kato) Nakaike. A: Natural habitat, B: Stipe base (Kiyokawa Village, Kanagawa Pref., 22. Sep. 2006).

今回, ウスゲミヤマシケシダを発見したのは丹沢山地東部に位置する丹沢山 (標高 1,567 m) 山頂付近の頂部緩斜面である。生育地周辺は丹沢大山国定公園特別保護地区に指定されており, 1980年代後半からニホンジカ *Cervus nippon* Temminck (以下シカ) の過度の採食圧により林床植生が退行して (羽山他 1994), 1997年に植生保護柵が設置された地域である。ウスゲミヤマシケシダはその植生保護柵内で1株が生育していた (Fig. 1 A) . 付近の植生はブナ, オオイタヤメイゲツなどから構成される冷温帯落葉広葉樹林で, 林床にはマルバダケブキ, ヤマトリカブトなどの高茎草本が生育していた。また, この株から8 m 上部にハクモウイノデとの雑種と推定される株も生育していた。この株を含めミヤマシケシダ類の雑種については今後の研究が必要である。

ウスゲミヤマシケシダの特徴は, 葉柄基部が粘液を出してヌルヌルすること (Fig. 1 B) , 裂片は羽軸に対してやや直角状につくこと, 腺毛をもたないことである。今回採集した標本はこれらの特徴があることからウスゲミヤマシケシダと同定された。標本は神奈川県立生命の星・地球博物館に収められた。

ウスゲミヤマシケシダの他に, 近年コシノサトメシダ (田村 1998) やタカネサトメシダ (田村他 2004) , ホソイノデ (田村 2005) が丹沢山地から発見されている。これらは日本海側あるいは亜高山帯に主に分布する種である。丹沢山地には亜高山帯針葉樹林はないものの, シラビソやコメツガが少数ながら生育していることから, 今後も亜高山帯や日本海側を主な分布域とする種が見つかる可能性がある。

この報告にあたり, 同定標本を再確認していただいた元千葉県立中央博物館の中池敏之博士, 標本閲覧を許可していただき, また草稿を読んでコメントをいただいた神奈川県立生命の星・地球博物館の勝山輝男専門学芸員, ならびに標本採集を許可していただいた神奈川県自然環境保全センターの許認可担当者にお礼申し上げる。

## 引用文献

- 羽山伸一・古林賢恒・三谷奈保・山根正伸. 1994. 丹沢山地におけるササの退行とニホンジカの状況. WWF Japan Science Report 2 (1) : 21-47.
- Kato, M. 1984. A Taxonomic Study of the Athyroid Fern Genus *Deparia* with Main Reference to the Pacific Species. J. Fac. Sci. Univ. Tokyo Sect. III 13 : 375-429.
- 大塚孝一. 1997. イワデンド科. 長野県植物誌編纂委員会 (編). 長野県植物誌, pp. 232-254. 信濃毎日新聞社, 長野.
- 中池敏之. 1982. 新日本植物誌 シダ編. 808 pp. 至文堂, 東京.
- 中池敏之. 1992. 新日本植物誌 シダ篇 改訂増補版. 868 pp. 至文堂, 東京.
- 田村 淳. 1998. 神奈川県新産のコシノサトメシダ. FLORA KANAGAWA 47 : 532.
- 田村 淳. 2001. オオシケシダ属. 神奈川県植物誌調査会 (編). 神奈川県植物誌 2001, pp. 115-121. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.
- 田村 淳. 2005. 丹沢山地新産のシダ植物-ホソイノデー. 神奈川県自然環境保全センター報告 2 : 59-60.
- 田村 淳・山根正伸・中山博子. 2004. 神奈川県新産のタカネサトメシダ. 植物地理・分類研究 52 (1) : 83-84.
- 安田啓祐. 1998. イワデンド科. 伊藤 洋 (編). 1998年版埼玉県植物誌, pp.72-78. 埼玉県教育委員会, 浦和.  
(〒243-0121 厚木市七沢 657 神奈川県自然環境保全センター Kanagawa Prefecture Natural Environment Conservation Center, Nanasawa 657, Atsugi 243-0121, Japan)